



イギリス

CO₂排出ゼロ住宅を目指し、窓の断熱規制も厳しいイギリス。

イギリスでは、「2016年までに、すべての新築住宅をゼロエミッション（二酸化炭素排出ゼロ）住宅にしよう！」という大きな目標があります。そのために、様々な断熱規制が定められ、省エネ基準のハードルが高くなっています。



イギリスの～住宅事情～

新築の場合：

「Code for Sustainable Home」という基準に沿った規格の住宅でないと、建築許可が下りません。

出典：planningportal 「Code for Sustainable Home」

「Code for Sustainable Home」とは？
(持続可能な住宅のための法律)

燃料や電力だけでなく、水道の効率的な使用も含み、高い持続可能性基準を保証するものです。
*使用する燃料がガスか電気で異なります。



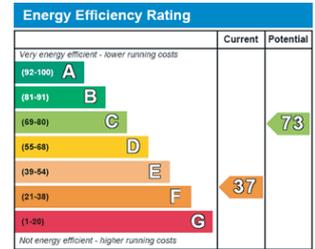
中古住宅の場合：

住宅の売買には、住宅の履歴がわかる法定住宅情報バックHIP (Home Information Pack) が必要です。

HIPは2006年7月6日に制定された制度。登記証書や地籍図、標準的な検査報告等の書類一式を、売主が検査機関に依頼して作成し、買主に渡します。

HIPのひとつとして必要な情報
「省エネルギー性能証書(EPC)」

住宅のエネルギー効率をAからGでランク付けされたもの。現状の格付けと潜在的な格付けの2つがマークされ、省エネルギー効率を上げるための具体的な措置も明記されています。



ランクを上げるためには、窓の改善が有効です。

出典：Home Information Pack情報 <http://www.homeinformationpacks.gov.uk/>

HIPとして提出する書類のひとつに、「省エネルギー性能証書」が義務付けられています。

省エネ力のある住宅は質的にも向上し、財産価値を上げることができます。

※歴史的建造物は例外措置あり

イギリスと日本の中古住宅流通事情

イギリスの住宅取引全体に占める中古住宅の割合は、日本とは格段に違います。その要因のひとつと考えられているのが住宅の寿命で、イギリスの住宅の平均寿命が約75年、アメリカ約44年、日本の家は平均約26年となっています。窓の断熱性能を高めると住宅の寿命が延び、環境保護にもつながります。

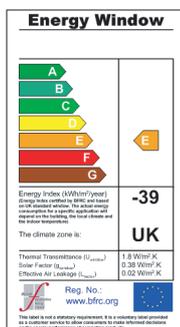
出典：国土交通省平成8年建設白書



イギリスの窓

窓の性能がわかるマークがあり、商品購入時の判断基準のひとつになっています。

●BFRC (英国窓規格協会) マーク
窓の性能や、その性能によって削減される年間光熱費を記載したマーク (BFRC/英国窓規格協会)。A～Gの7段階で、最も高い評価はAになります。



BFRC <http://www.bfrc.org/>

●Energy Saving Recommendedマーク

白物家電などの省エネ優良商品につけられるマークで、BFRCのC (U値0.9以下) 以上の窓が認定されます。樹脂窓は認定されています。



energy saving trust
<http://www.energysavingtrust.org.uk/>